

地元活性化探究プロジェクト

~Explore our local community and ourselves~

東海大学教養学部 岩本泰准教授による

「地域課題×SDGs」講演会

が開催されました。

本年度中津高校では、「清流の国ぎふ」SDGs推進ネットワークのメンバーとなり、地域課題探究型学習をSDGsと絡めて考えるプロジェクトを進めています。その一環として、東海大学教養学部の岩本准教授にお越しいただき、1、2年次生対象に講演会を実施しました。

今回実際にご来校いただきましたが、講演はオンラインにて各教室に配信しました。今までの講演と違う点は、2年B組を拠点とし、各教室に配信した点にあります。岩本先生には、生徒のリアルな反応を確認いただきながらお話を進めていただくことができました。

東海大学教養学部
岩本准教授



3 すべての人に
健康と福祉を

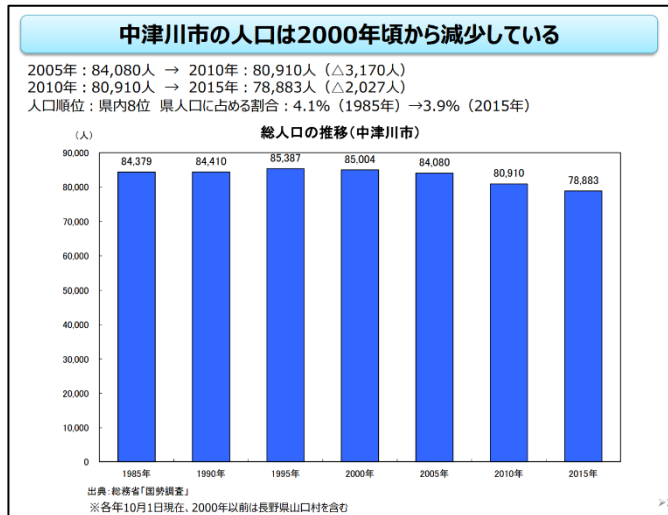
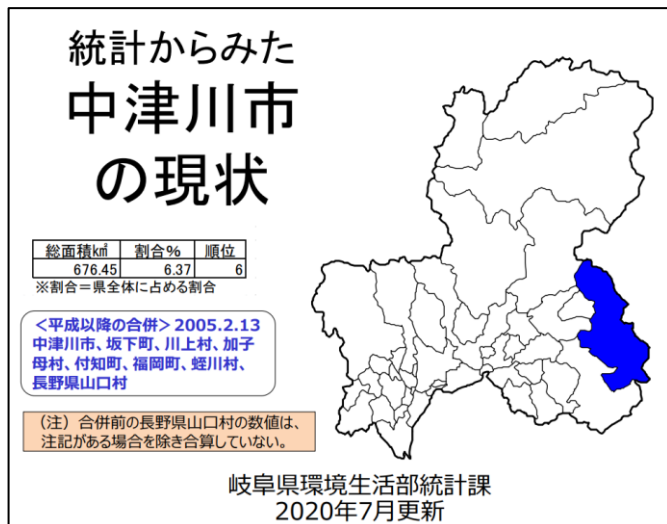


講演会では、新型コロナウイルス撲滅への取り組みをSDGsゴール3（すべての人に健康と平和を）に関連づけて説明をしていただいた後、国連がSDGs採択に踏み切った理由や世界の現状についてもわかりやすく教えていただきました。また、多くの日本の企業や学校などでもSDGsの取り組みを進めていることについて、写真などをから、詳しく説明していただきました。

近頃は多くの企業でもSDGsバッジを付けているのが見受けられます。本校でも多くの先生方がバッジを着用しています。生徒からの反応も上々です!!



話はよいよ本題に入り、「地域課題×SDGs」について、中津川市の現状を挙げながらお話いただきました。



出典：<https://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/tokei/tokei-joho/11111/gifuken-genjo/ken-shichoson-genjo.data/20200706nakatugawasi.pdf>

地域課題×SDGsの考え方



11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

11.7 2030年までに、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。

8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。

12.B 雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。



我々高校生にできることは、「**どんな行動をおこすか**」、「**どんな行動に参加するか**」が大切です!

岩本先生からは、

- ① 地域課題にを考え、向き合い、行動を起こす
- ② 地域を俯瞰的に考える
- ③ 地域を比較する
- ④ 地域に誇りを持つ(シビックプライド)
- ⑤ 地域から世界を、世界から地域を見るなどのヒントをいただきました。